

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和2年7月末現在
男 16,174人
女 16,018人
総人口 32,192人
世帯数 13,349世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.97 ラミーカミキリ
(カミキリムシ科)

学名 Praguleneae fortunei (Savnders)

写真・文 小菅 次男

▼中国からの外来種
江戸時代末期に中国から繊維をとるため輸入された植物のナンバンカラムシ(ラミー)に伴って、当時の貿易地の長崎県に侵入したと言われる外来種です。

以来、分布域が徐々に北上してきており、現在の分布は関東以西の西日本となつています。これは温暖化の影響の一つとも言われています。

本県の初記録は、平成18年つくば市です。今は茨城町や水戸市などの県中央部でも、カラムシなどの食草をよく見ると、見つけることができます。ほどに広がっています。

▼生態
成虫は5月～8月頃に発生し、イラクサ科のカラムシ、ヤブマオ、アオイ科のムクゲなどを食草としています。

屋間に活動をし、食草の茎や葉をかじって食べたり、周囲を飛び回ったりします。身軽で、捕らえようとすると死んだ振りをして地表に落下する

か、素早く飛翔して逃げようとしています。

幼虫は食草の茎の中に食い込み、成長した幼虫は根にまで食い込んで越冬します。

▼品行方正に見えても
最近花が美しいことから街路樹や生垣に利用されていますが、この植え込みへ侵入すると、大量の幼虫が幹を食い荒らし、あつという間にムクゲを枯らしてしまいます。

ラミーカミキリはディナージャケットをきつたりと着こなした高級レストランのウェイターのようないでたちなので、外見上は品行方正に見えますが、結構悪さをするカミキリです。

ちびっ子アート 飯沼こども園



「ふしぎな はな」
あおき そうま (6歳)



「あめふり」
こばやし りな (6歳)